

ポリーナ、私を踊る (2016)

POLINA, DANSEUR SA VIE

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 フランス

色彩 Color

時間 108分

初公開日 2017/10/28

公開情報 ポニーキャニオン

映倫 PG12

【キャッチコピー】

夢の先のステージは、
わたしだけのもの。

【解説】

バンドデシネの新鋭バスティアン・ヴィヴェスがコンテンポラリー・ダンスに目覚めた天才バレエ少女の葛藤と成長を描いたグラフィック・ノベル『ポリーナ』を、コンテンポラリー・ダンスの世界的振付家アンジュラン・プレルジョカージュ自らメガフォンを取り映画化。共同監督には、アンジュラン・プレルジョカージュとはこれが長編2作目のコラボとなるヴァレリー・ミュラー。主演は実際に自身もバレエダンサーで、本作が映画デビューとなるアナスタシア・シェフツォヴァ、共演にジュリエット・ピノシュ。

ロシア人少女ポリーナの夢はボリショイ・バレエ団のバレリーナになること。そのために小さい頃から厳しい練習に耐え、今では将来を期待されるまでに成長した。そしてついにオーディションにも合格し、憧れのボリショイ・バレエ団への入団が目前に。ところがそんな時、コンテンポラリー・ダンスと出会ってしまったポリーナ。湧き上がる感情を抑えられなくなった彼女は、周囲の反対を押し切り、コンテンポラリー・ダンス・カンパニーへ入団すべく南フランスへと旅立つ。新天地で著名な振付家リリアの厳しい指導の下、慣れないスタイルに戸惑いながらも懸命に自分の踊りを見出そうと悪戦苦闘していくポリーナだったが…。

【クレジット】

監督 ヴァレリー・ミュラー Valerie Muller
アンジュラン・プレルジョカージュ Angelin Preljocaj

製作 ディディエ・クレスト Didier Creste
ギャエル・ベッシエール Gaelle Bayssiere

原作 バスティアン・ヴィヴェス Bastien Vives

『ポリーナ』
(小学館集英社
プロダクション
刊)

脚本 ヴァレリー・ミュラー Valerie Muller
撮影 ジョルジュ・ルシャプトワ George Lechaptois
編集 ファブリス・ルオー Fabrice Rouaud
ギヨーム・セニョル Guillaume Sagnol

振付 アンジュラン・プレルジョカージュ Angelin Preljocaj

音楽 79D 79D

出演 アナスタシア・シェフツォヴァ Anastasia Shevtsova ポリーナ

ニールス・シュネデル	Niels Schneider	アドリアン
ジェレミー・ベランガー	Jeremie Belingard	カール
ミグレン・ミルチェフ	Miglen Mirtchev	アントン
ヴェロニカ・ジョフニツカ	Veronika Zhovnytska	ポリーナ（8歳）
クセニヤ・クテポヴァ	Kseniya Kutepova	ナタリア
アンジュラン・プレルジョカージュ	Angelin Preljocaj	
アレクセイ・グシュコフ	Aleksey Guskov	ボジンスキー
ジュリエット・ビノシュ	Juliette Binoche	リリア・エルサジ